

新除草・調節剤

ローンクリーナー[®]水和剤
CAT・アトラジン除草剤

(取扱メーカー) 中外製薬株式会社

対象作物：芝生（日本芝）。

成分・作用特性：本剤は、2-クロル-4,6-ビス（エチルアミノ）-s-トリアジン……40.0%，2-クロル-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-s-トリアジン……4.0%とを含有する水和剤で、植物の地下部（根部）および茎葉部より吸収移行し、ヒル反応阻害により雑草を枯殺する。

特徴：① 発芽時の雑草に対しては、土壌表面2～3 cmに堅固な処理層を作るため、幼根より吸収されて雑草を枯殺する。② 生育中の雑草に対しては、上記処理層よりやや深いところより吸収されて枯殺する。③ 生育中の雑草に対しては、地上茎葉部より吸収されて枯殺する。④ 芝生の根は薬剤処理層より深いため、基本的に薬剤処理層に接触しない。⑤ 茎葉部および処理層よりやや深部での吸収については、芝生体内で分解されると考えられる。⑥ 土壌中の微生物により分解をうける。⑦ 哺乳類・鳥類・魚類などに対し、安全である。

毒性：共に普通物で、ラットに対し 50,000 mg/kg 投与しても死亡例は見い出されていない。魚毒性は、共にA類である。

使用方法：本剤は、畑地一年生雑草およびカタバミ・クローバー・チドメグサ・ジシバリ等の畑地多年生広葉雑草に卓効があり、春季雑草生育初期に500～750 g（液量150～250 l）／10 a（砂土を除く全土壌）を散布する。

使用上の注意：① 本剤は生育初期の雑草に有効であるので、雑草が大きくなりすぎないうちに散布すること。② 砂土または水はけのよい土壌では、薬害の生ずるおそれがあるので使用をさけること。特に雨の多い時期には使用しないこと。また、沖積土壌あるいは砂壤土の場合もさけるか、所定範囲の少なめの薬量で使用する。③ 傾斜地では、降雨などにより薬剤が窪地に集中し薬害を生じやすいので、使用をさけるか使用薬量・散布液量を少なめにして、均一に散布するよう十分に注意すること。④ 洋芝・芝張り後一年以内の芝・ターフ形成の不十分な芝・老朽化した根付きのよくない芝およびエアレーション後の芝には薬害を生じやすいので、付近にある場合には散布液が飛散してかからないよう注意すること。⑤ 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布すること。⑥ 芝生中や周囲の有用植物にかけると薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意すること。⑦ 散布液を調製した容器および散布器具は、使用後十分に水で洗うこと。⑧ 他剤との混用はさけること。

植調協会だより

◎ 会議開催日程のお知らせ

・昭和55年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和56年 6月25～26日

場所：新潟郵便貯金会館（新潟市川岸町2